

浜松市内の事例

1 市内取組事例の収集

対象	収集事例	収集数
浜松市立 小・中学校	浜松市立小中学校の総合的な学習の時間における、学校ごとの目標や、学年ごとのテーマや活動	小学校97校 中学校49校
浜松市内の 高等学校	授業(総合的な探究の時間)、部活動、有志活動等で実施している ・浜松市や地域を学ぶ取組 ・地域で活動する取組 ・地域を研究する取組	22校 100事例
浜松市内の 専修学校	授業、部活動、サークル、有志活動等で実施している ・浜松市や地域を学ぶ取組 ・地域で活動する取組 ・地域を研究する取組	13校 30事例
浜松市内に キャンパスの ある大学	授業、サークル、有志活動等で実施している ・浜松市や地域を学ぶ取組 ・地域で活動する取組 ・地域を研究する取組	5校 177事例
民間事業者	浜松商工会議所会員に対して、照会を実施。 ・浜松市または市内地域の魅力の発信につながる取組 ・地域愛や郷土愛を育むことにつながる取組	56団体 133事例
庁内	・浜松の魅力を学ぶ機会 ・地域への関心を高め、地域愛や郷土愛を育むことにつながること	20課 56事例

2 学習指導要領で定める総合的な学習の時間について

小・中学校については、総合的な学習の時間において社会との関わりを重視していることから、小・中学生におけるもっとも身近な社会である地域と関わる取組が多いと考え、総合的な学習の時間における取組について収集。

【参考】学習指導要領(文部科学省)より

目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

各学校において定める目標及び内容の取扱い

各学校において定める目標及び内容の設定に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

(3) 各学校において定める目標及び内容については、日常生活や社会との関わりを重視すること。

(6) 探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力については、次の事項に配慮すること。

ウ 学びに向かう力、人間性等については、自分自身に関すること及び他者や社会との関わりに関することの両方の視点を踏まえること。

3 浜松市立小学校の事例について

(1) 総合的な学習の時間における探究課題

下記の例示を参考にしながら、各学校の総合的な学習の時間の目標や、生徒、学校、地域の実態に応じて、各学校が目標を実現するにふさわしい探究課題を設定

学習指導要領解説 総合的な学習の時間編(文部科学省)より

三つの課題	探究課題の例
横断的・総合的な課題(現代的な諸課題)	地域に暮らす外国人とその人たちが大切にしている文化や価値観(国際理解) 情報化の進展とそれに伴う日常生活や社会の変化(情報) 身近な自然環境とそこに起きている環境問題(環境) 身の回りの高齢者とその暮らしを支援する仕組みや人々(福祉) 毎日の健康な生活とストレスのある社会(健康) 自分たちの消費生活と資源やエネルギーの問題(資源エネルギー) 安心・安全な町づくりへの地域の取組と支援する人々(安全) 食をめぐる問題とそれに関わる地域の農業や生産者(食) 科学技術の進歩と自分たちの暮らしの変化(科学技術)
地域や学校の特色に応じた課題	町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織(町づくり) 地域の伝統や文化とその継承に力を注ぐ人々(伝統文化) 商店街の再生に向けて努力する人々と地域社会(地域経済) 防災のための安全な町づくりとその取組(防災)
児童の興味・関心に基づく課題	実社会で働く人々の姿と自己の将来(キャリア) ものづくりの面白さや工夫と生活の発展(ものづくり) 生命現象の神秘や不思議さと、そのすばらしさ(生命)

3 浜松市立小学校の事例について

(2) 浜松市立小学校の傾向

浜松市立小学校全97校の総合的な学習の時間における全体計画(学校ごとの目標や学年ごとのテーマ・活動等)を、探究課題の項目に合わせて分類。

単位:校(複数選択あり)

三つの課題	探究課題	3年生	4年生	5年生	6年生
横断的・総合的な課題 (現代的な諸課題)	国際理解	0	1	0	3
	情報	1	0	1	0
	環境	3	4	76	5
	福祉	2	74	4	2
	健康	0	1	0	0
	資源エネルギー	0	0	0	0
	安全	1	1	0	1
	食	6	2	5	1
	科学技術	0	0	0	0
地域や学校の特色に応じた課題	町づくり	82	8	8	11
	伝統文化	21	3	4	10
	地域経済	2	0	3	1
	防災	0	6	5	0
児童の興味・関心に基づく課題	キャリア	0	7	2	76
	ものづくり	0	0	2	1
	生命	0	1	1	1
その他(全体計画から読み取れなかったもの)		7	11	7	6
合計		125	119	118	118

※企画課にて分類

3 浜松市立小学校の事例について

(3) 浜松市立小学校の特徴

学年	特徴
3年生	<ul style="list-style-type: none">・地域を探検して自慢やいいところを見つける活動が多い・地域を調べることに付随して、地域でつくられている農作物や伝統文化について学習する学校もある
4年生	<ul style="list-style-type: none">・福祉体験やユニバーサルデザインを学ぶ活動が多い・障がい者や高齢者だけでなく、すべての人が暮らしやすい社会について学習している学校が多い
5年生	<ul style="list-style-type: none">・地域の身近な環境問題について学ぶ活動が多い・SDGsの視点を取り入れて学ぶ活動が多い ※探究課題にSDGsの項目がないため、環境に分類
6年生	<ul style="list-style-type: none">・自分がなりたい職業の情報収集や職業体験が多い・将来の夢や生き方について考える内容が多く、併せて地域の将来について考える学校もある

4 浜松市立中学校の事例について

(1) 総合的な学習の時間における探究課題

下記の例示を参考にしながら、各学校の総合的な学習の時間の目標や、生徒、学校、地域の実態に応じて、各学校が目標を実現するにふさわしい探究課題を設定

学習指導要領解説 総合的な学習の時間編(文部科学省)より

四つの課題	探究課題の例
横断的・総合的な課題(現代的な諸課題)	地域に暮らす外国人とその人たちが大切にしている文化や価値観(国際理解) 情報化の進展とそれに伴う日常生活や消費行動の変化(情報) 地域の自然環境とそこに起きている環境問題(環境) 身の回りの高齢者とその暮らしを支援する仕組みや人々(福祉) 毎日の健康な生活とストレスのある社会(健康) 自分たちの消費生活と資源やエネルギーの問題(資源エネルギー) 安心・安全な町づくりへの地域の取組と支援する人々(安全) 食をめぐる問題とそれに関わる地域の農業や生産者(食) 科学技術の進歩と社会生活の変化(科学技術)
地域や学校の特徴に応じた課題	町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織(町づくり) 地域の伝統や文化とその継承に力を注ぐ人々(伝統文化) 商店街の再生に向けて努力する人々と地域社会(地域経済) 防災のための安全な町づくりとその取組(防災)
生徒の興味・関心に基づく課題	ものづくりの面白さや工夫と生活の発展(ものづくり) 生命現象の神秘や不思議さと、そのすばらしさ(生命)
職業や自己の将来に関する課題	職業の選択と社会への貢献(職業) 働くことの意味や働く人の夢や願い(勤労)

4 浜松市立中学校の事例について

(2) 浜松市立中学校の傾向

浜松市立中学校全49校の総合的な学習の時間における全体計画(学校ごとの目標や学年ごとのテーマ・活動等)を、探究課題の項目に合わせて分類。単位:校(複数選択あり)

四つの課題	探究課題	1年生	2年生	3年生
横断的・総合的な課題 (現代的な諸課題)	国際理解	0	1	0
	情報	0	0	0
	環境	2	3	0
	福祉	12	0	2
	健康	0	0	0
	資源エネルギー	0	0	0
	安全	1	0	0
	食	0	0	0
	科学技術	0	0	0
	地域や学校の特色に応じた課題	町づくり	15	7
伝統文化		2	1	4
地域経済		1	0	0
防災		11	2	1
生徒の興味・関心に基づく課題	ものづくり	0	0	0
	生命	1	0	2
職業や自己の将来に関する課題	職業	8	32	26
	勤労	1	8	1
	その他	0	1	1
その他(全体計画から読み取れなかったもの)		8	9	9
※企画課にて分類 合計		62	63	61

4 浜松市立中学校の事例について

(3) 浜松市立中学校の特徴

学年	特徴
1年生	<ul style="list-style-type: none">・地域の良さや課題を研究し、自分に何ができるのか考える内容が多い・地域の福祉・防災について学ぶ活動が多く、地域との関わりを重視している
2年生	<ul style="list-style-type: none">・職業体験を通して、どのような職業があるのかを知り、自分の将来について考える活動が多い
3年生	<ul style="list-style-type: none">・義務教育を振り返り、今後の進路・生き方について考える活動が多い・また、地域や社会の課題に対して自分がどのように貢献できるのかを考える活動が多い。

※2年生と3年生は、同じ「職業」という探究課題に関する学習が多いが、2年生については職業体験を通して職業自体について知る内容が多く、3年生については進路や生き方について考える内容が多い。

5 浜松市内高等学校の事例について

(1) 取組事例の収集

①実施概要

- ・照会事項 授業(総合的な探究の時間)、部活動、有志活動等で実施している
 - ・浜松市や地域を学ぶ取組
 - ・地域で活動する取組
 - ・地域を研究する取組
- ・対 象 浜松市内の高等学校 全38校
- ・期 間 2024年6月24日～7月5日
- ・方 法 ①調査票を郵送通知のQRコードもしくは送信メールからダウンロード
②メールもしくはFAXで提出
- ・回答状況 22校100事例

②事例の分類

単位:事例(複数選択あり)

カテゴリー/方法	授業	部活動	有志	その他	合計
①産業・仕事	33	5	4	3	45
②自然環境	12	5	13	0	30
③地域コミュニティ	13	4	3	0	20
④伝統・文化	5	6	1	0	12
⑤観光	1	1	2	0	4
⑥農林水産・食	10	5	5	0	20
⑦その他	0	0	0	0	0
合計	74	26	28	3	-

※企画課にて分類

5 浜松市内高等学校の事例について

(2) 特徴

- ・部活動や有志に比べて、授業での取組が圧倒的に多い。
- ・全体的に産業・仕事に関する取組が最も多く、そのほとんどが授業で行われている。地元特産品の活用や企業との連携が多い。
- ・有志では、自然環境に関する取組が特に多く、主に環境保全活動を実施している。
- ・観光に関する取組が最も少ない。

6 浜松市内専修学校の事例について

(1) 取組事例の収集

①実施概要

- ・照会事項 授業、部活動、サークル、有志活動等で実施している
 - ・浜松市や地域を学ぶ取組
 - ・地域で活動する取組
 - ・地域を研究する取組
- ・対象 浜松市内の専修学校 全22校
- ・期間 2024年6月24日～7月5日
- ・方法 ①調査票を郵送通知のQRコードからダウンロード
②メールもしくはFAXで提出
- ・回答状況 12校(該当なし3校を除く)30事例

②事例の分類

単位：事例(複数選択あり)

カテゴリー／方法	授業	部活動	有志	その他	合計
①産業・仕事	0	0	0	0	0
②自然環境	2	0	0	0	2
③地域コミュニティ	3	0	0	2	5
④伝統・文化	1	0	0	1	2
⑤観光	0	0	1	0	1
⑥農林水産・食	5	0	2	4	11
⑦その他	9	0	0	1	10
合計	20	0	3	8	-

※企画課にて分類

6 浜松市内専修学校の事例について

(2) 特徴

- ・授業で学ぶ機会が最も多い。また、学校主催の行事やイベントも多く、基本的には学校が機会を提供している。
- ・農林水産・食について学ぶ機会が多いが、調理や製菓を専門とする学校の影響が大きい。
- ・その他のカテゴリーには、医療・看護の専門的な取組が多い。

7 浜松市内大学の事例について

(1) 取組事例の収集

①実施概要

- ・照会事項 授業、サークル、有志活動等で実施している
 - ・浜松市や地域を学ぶ取組
 - ・地域で活動する取組
 - ・地域を研究する取組
- ・対象 浜松市内にキャンパスのある大学 全6校(静岡大学、常葉大学、聖隷クリストファー大学、浜松学院大学、静岡文化芸術大学、浜松医科大学)
- ・期間 2024年6月6日～7月30日
- ・方法 メールで調査票を送付し、回答を提出
- ・回答状況 5校177事例

②事例の分類

単位:事例(複数選択あり)

カテゴリー／方法	授業	部活動・サークル	有志	その他	合計
①産業・仕事	18	2	0	0	20
②自然環境	4	1	1	0	6
③地域コミュニティ	21	3	4	0	28
④伝統・文化	30	2	1	2	35
⑤観光	18	0	0	1	19
⑥農林水産・食	8	2	5	3	18
⑦その他	29	5	12	23	69
合計	128	15	23	29	-

※企画課にて分類 14

7 浜松市内大学の事例について

(2) 特徴

- ・授業で学ぶ機会が最も多い。教養・専門・ゼミといった多くの種類の授業があり、あらゆる角度で地域と関わる活動が多いためと考えられる。
- ・伝統・文化や地域コミュニティについて学ぶ機会が多い。
- ・その他の方法には、大学主催の講座や浜松市との連携事業が多く含まれる。
- ・その他のカテゴリーには、スポーツイベントでの活動や健康・看護に関する活動が多く含まれる。

8 浜松市内民間事業者の事例について

(1) 取組事例の収集

①実施概要

- ・照会事項 過去に実施した取組で以下に該当するもの
 - ・浜松市または市内地域の魅力の発信につながる取組
 - ・地域愛や郷土愛を育むことにつながる取組
- ・対象 浜松商工会議所会員 4,738団体
- ・期間 2024年7月5日～7月19日
- ・方法 ①浜松商工会議所よりメールもしくはFAXで会員団体へ案内を送付
②メールもしくはFAXで調査票を提出
- ・回答状況 56団体133事例

②事例の分類

単位:事例(複数選択あり)

カテゴリー／対象	全体	幼児 0-5歳	小学生 6-12歳	中学生 13-15歳	高校生 16-18歳	大学生 19-22歳	20代 23-29歳	全年齢
①産業・仕事	49	6	21	16	19	19	14	5
②自然環境	5	2	5	1	1	1	1	1
③地域コミュニティ	16	4	15	5	2	2	3	2
④伝統・文化	14	6	13	11	10	11	11	6
⑤観光	22	16	19	17	17	19	18	16
⑥農林水産・食	18	8	12	8	10	10	9	7
⑦その他	31	12	22	17	12	12	13	8
合計	155	54	107	75	71	74	69	45

※企画課にて分類

8 浜松市内民間事業者の事例について

(2) 特徴

- ・産業・仕事分野に関する取組が最も多い。
- ・小学生を対象とした取組が最も多い。
- ・地域コミュニティに関する取組は小学生を対象としたものが多い。
- ・自然環境に関する取組が最も少ない。
- ・観光に関する取組は年代を絞って対象としたものではなく、ほぼすべてが全年齢を対象としたものである。

9 庁内の事例について

(1) 取組事例の収集

①実施概要

- ・照会事項 2024(R6)年度事業の中で、以下に該当する事業
 - ・働きやすい、子育てしやすい、住みやすいなど、浜松の魅力を学ぶ
 - ・地域への関心を高め、地域愛や郷土愛を育むことにつながる
- ・対象 庁内各課
- ・期間 2024年5月16日～28日
- ・回答状況 20課56事例

②事例の分類

単位：事例（複数選択あり）

方法／対象	全体	幼児 0-5歳	小学生 6-12歳	中学生 13-15歳	高校生 16-18歳	大学生 19-22歳	20代 23-29歳
①講座	28	4	22	21	18	15	14
②講演会	9	1	5	4	7	5	5
③事業・アイデア提案	7	0	1	1	4	3	3
④現地訪問	16	2	9	9	10	9	9
⑤イベント	28	12	22	20	21	21	20
⑥その他	15	8	10	11	14	14	14
合計	103	17	38	38	43	38	36

※企画課にて分類

9 庁内の事例について

(2) 特徴

- 講座やイベントによるものが多い。
- 高校生を対象とした取組が最も多い。
- 複数世代を対象としている取組が8割以上を占める。

10 浜松市の事例について

中学生未来議会

浜松市の次代を担う中学生に市政への関心を深めてもらうとともに、若い世代の声や斬新なアイデアを聴き、これからの市政の参考とすることを目的として、毎年夏休み期間に開催。

参加者

市内中学校56校(国、県、私立を含む)の2年生代表各1人

テーマ

私たちが住み続けたい浜松市にするために



浜松みらいっこ事業

市内の小中学生が夏休み期間中に地元企業等へ直接訪問し、事業の趣旨にご賛同いただいた地元企業が提供する機械加工の学習やプログラミング体験、浜松注染体験など、企業が有する優れた技術やノウハウを活かした様々なプログラムを体験。





世界唯一のアルミ表面処理技術「カシマコート」の会社です！



事業所名：株式会社ミヤキ

所在地：浜松市西区桜台1-12-15



期等日時
令和5年 8月27日(日)
10:00~12:00
申込期限 7月31日(月)まで

①プログラム内容

アルマイト体験プログラム

1. アルマイトってなんだ？
2. バーチャル工場見学
3. アルマイトライン見学
4. 色変化化学実験
5. アルマイトスプーンでアイスを食べよう！！

③申込方法・お問い合わせ先

下記連絡先へ電話もしくはメールにてお申込みください。
TEL: 053-430-1122
Email: r-katou@miyaki-jp.com
担当：総務部 加藤隆太

「中学生の職場体験の件」とお問い合わせいただくスムーズです。
他、分からないことなど何でもお問い合わせください。

②受入対象・定員

中学1年生～中学3年生 5人

実は身近にある「アルマイト」！特に理科・化学が好きな方はきっと楽しく体験できます！もちろんそうでない方も！世界唯一の技術を体験してみませんか？

10 浜松市の事例について

浜松市小学生SDGsアイデアコンテスト

市内小学4～6年生から『住み続けられる未来の浜松市』をテーマとしたアイデアを募集。最優秀賞に選ばれると、2025年3月に東京で行われる「第5回国連を支える世界こども未来会議」へ浜松市代表としてご招待。また、アイデアをもとに模型が作成され、ミニチュアミュージアム「スモールワールズ」、2025年大阪・関西万博への展示を予定。



浜松市地方創生SDGsコンテスト

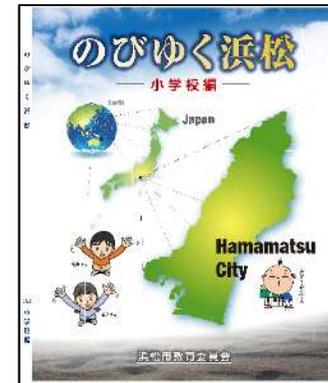
取組の裾野拡大や、横展開を図り、本市における地方創生SDGsにつなげることを目的にSDGsの観点から地域の活性化や社会課題の解決につながる取組を募集。

※大学生・企業等を対象とした「一般の部」と高校生を対象とした「高校生の部」に分けて実施



10 浜松市の事例について のびゆく浜松

浜松市の特徴、産業、歴史等をまとめた冊子であり、主に社会科の授業の副読本として活用。小学校編と中学校編があり、昭和30年度に初版が発行され、定期的に改訂を行っている。



のびゆく浜松 小学校編

【まえがき(抜粋)】

この「のびゆく浜松」を読み、浜松市の魅力を再発見するとともに、学んだ知識を効果的に活用しながら、今度はみなさん自身が新しい時代に生きる浜松市の一員として、社会の役に立つ人になることを願っています。

【あとがき(抜粋)】

「のびゆく浜松」には、そのような浜松の宝物を詰め込んであります。みなさんは、この「のびゆく浜松」を読み、様々なことについて調べることで、浜松のことをさらに好きになり、私たちの浜松を誇りに思うようになるでしょう。

のびゆく浜松 中学校編

【まえがき(抜粋)】

本冊子を活用することで、時代の変化とともに市がどのように発展を遂げてきたのかを学び、先人たちの努力や工夫に支えられて現在の浜松市があるということに気付くことができると思います。本書に書かれていることと、皆さんが実際に、見たり、聞いたり、経験したりしたことをつなぎ合わせて、よりよい浜松市について考えていってほしいと願っています。

【あとがき(抜粋)】

時代が大きく移り変わっても、中学生が、「のびゆく浜松」市の主権者の一人として、発展を担う存在になることを期待しています。